

「物性研究・電子版」第2号はいかがでしたでしょうか？冊子体と違い気軽にアクセスできるようになったと思います。是非まわりの方にも見ていただくよう宣伝お願いします。そして気軽に投稿いただければ編集委員会としても幸せです。

現在、ロンドン・オリンピックの真っ只中。連日、日本人の活躍が報道され、「メダルラッシュ」という言葉が飛び交っています。残り日数も少なくなっていますが日本人の更なる奮闘に期待したいと思います。

日本国内を沸かせているのがサッカー。男女とも準決勝までこぎつけています（8月5日現在）。メダルの期待も膨らんでいます。先月にヨーロッパのとある国を訪れた際、「オリンピックのサッカーに日本が出場しメダルが期待されている」というような話をしたら、「オリンピックはお祭りだから」と一蹴されてしまいました。ちなみにその国のサッカーチームはオリンピックに出場していませんでした...

そのとある国とはスロベニアです（よくスロバキアと間違われます。）旧ユーゴスラビアですが、イタリアとオーストリアに南北をはさまれた国で、イタリア・トリエステのすぐ近くに国境があります。人口200万の小国ですが、アドリア海から3000メートル級の山岳地帯まであり、自然に富んだ風光明媚な国です。

筆者がスロベニアを初めて訪れたのは2001年でした。その当時はまだEUにも加盟しておらず、通貨も「トラール」でした（2004年EU加盟、2007年からユーロ導入）。古びたヨーロッパという雰囲気が全体に色濃く残っており、ドイツ・フランスとは異なる感じでしたが、そこに暮らしている人々の明るさ、礼儀正しさには好感を覚えました。まだ日本・アジアからの観光客はほとんどいなかったもので、首都リュブリアナの街を歩いてもアジア系の人ほとんど見かけませんでした。帰りの空港で、初めて日本人に会いお互いに声を掛け合ったことを覚えています。そんな状況ですから、訪問した研究所では日本人は珍しく、歓待していただきました。

それから12年、共同研究のため幾度となくその研究所を訪問しています。次第に日本人に会う機会が多くなり、先月訪問した際は、よく知っている研究者と偶然にも遭遇しました。私の指導している学生も今年10月から3ヶ月ほど滞在予定です。ヨーロッパの小国ですが、日本との交流がますます盛んになることを期待しています。ちなみにスロベニアの治安はよく、2012年度版「世界の平和な国ランキング」で見るとほぼ日本と同じです（日本5位、スロベニア8位 <http://www.visionofhumanity.org/>）。

(T. T.)